

科目名		ディスプレイ実習Ⅰ			
担当教員		大沼久子		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	選択	授業形式	実習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	Display、ラッピング、POPの基本的な技術の習得。販売に繋がる演出力、販促計画に基づいた季節感の表現力の習得。7月に受験する商品装飾展示技能士3級の全員合格を目指す。座学→企画→演出→講評→フィードバック→解説を繰り返し指導を行う。個別指導によるレベル差を無くす。				
学習目標 (到達目標)	商品装飾展示技能士3級の全員合格と新潟県優秀者表彰も視野に入れる。商品の見せ方、並べ方の基本を学び売りに繋がる技術の習得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	商品装飾展示技能士テキスト。過去問題。ストアオペレーションハンドブック。おまかせしない実用ラッピング。POP広告制作マニュアル。自作オリジナルテキスト。				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	5 2 W MD・・・1年間の流れを掴む			方法・・・1年間のカレンダーを作り、季節感の表現、生活催事の重要性を学ぶ。販促計画の基本を身につける。	
2	立体構成4種・・・三角構成・対称・非対称・リピート			方法・・・コラージュで4種の構成を作る。習得後、実技で演出→メイン・サブ商品の設定→オブジェの設定→季節の設定→撮影→企画書作成→フィードバック	
3	平面構成2種・・・直線構成・サークル構成			方法・・・コラージュで2種の構成を作る。習得後、実技で演出→季節の設定→メイン・サブ・オブジェの設定→撮影→企画書作成→フィードバック	
4	POP・ラッピングの基本			方法・・・検定対策を含む基本練習。斜め包み・キャラメル包み・斜め掛けリボン・十文字掛けリボン結び。タイトルPOPの書き方の練習。	
5	検定対策・・・6月発表後の実技練習と学科問題練習。			方法・・・6月上旬公開の実技練習。(パーツ別→細部のサイズ確認→手順確認→タイム計測) 学科過去問題練習。(解答解説→点数確認→苦手克服再練習) 個別指導	
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	検定結果		検定全員合格を目指す。各課題に於いてVMDの基礎を身に付けて、作成する。整理整頓・掃除の徹底・備品の取り扱いにも注意をする。グループ作品の作成もあるため、チームワークも良くしていく必要がある。仲良く楽しく基本技術の習得を目指す。	
20 %	30 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		30年			